

4/18 西三河福祉の店 (高浜市)



地域の福祉施設が集まり、物産展が高浜Tポートにて開催されました。便利でかわいい小物や美味しいお菓子を買うことができました。

4/19 石川喜平翁頌徳祭 (安城市)



明治用水開削を測量技術で成し遂げた功労者 石川喜平翁の銅像が建立されました。喜平翁のご遺徳が後世へ伝えられることを願います。

4/26 小堤西池 カキツバタ群落除草作業 (刈谷市)



日本三大かきつばたの自生地です。今年も清楚可憐な青紫色の花がたくさん咲くことを願いながら、地元の皆さんと除草作業中。

4/27 神有天満社祭礼 (碧南市)



地元の神有天満社の祭礼にて、餅投げに参加。還暦の厄を払い、気持ち新たに仕事にまい進します。

5/2・3 知立まつり (知立市)



江戸時代より続く知立神社の祭礼。今年は「間祭（あいまつり）」が開催され、5つの町から勇壮華麗な花車が繰り出されました。

5/5 刈谷大名行列 (刈谷市)



江戸時代中期から伝わる伝統行事。殿様や姫君などが市内を練り歩く華やかな時代絵巻。伝統の技「奴のねり」は見ごたえがあります。

5/10 八橋無量寿寺 かきつばた祭り (知立市)



八橋のかきつばたは、昨年よりもひとまわり大きく濃紫色の花を咲かせました。楚々として気品ある花姿は、来る人々を魅了します。

5/10 人形小路まつり (高浜市)



今年は人形小路20周年の特別な花まつり。お釈迦様を乗せた「白象」を子ども達がひいて行進です。甘茶をかけたお祝いしました。

5/11 新緑茶会 丈山苑 (安城市)



風薫る5月。清々しい新緑の中、美味しいお茶とお菓子を頂きました。壊れて立ち入り禁止となっていた「あずまや」も見事に修復完了。

5/25・26 関西・大阪万博バス旅行に行ってきました!!



石井拓事務所 自由民主党愛知県第十三選挙区支部

安城事務所 〒446-0039

安城市花ノ木町49-96 Actis HANANOKI D号
Tel 0566-87-7407 Fax 0566-87-7055

碧南事務所 〒447-0877

碧南市栄町4-82 丸源ビル102
Tel/Fax 0566-48-2920



大阪・関西

万博開幕



1万人の第九に参加



日本館 名誉館長 藤原紀香さんと



発酵食堂 Hasshoku



いのちの遊び場 クラゲ館

皆様、日頃は私の政治活動にご支援をたまわり、厚く御礼申し上げます。自由民主党支部長を務め、引き続き街頭活動や企業訪問、地域イベントに参加し、地域に密着した活動をしております。これまでの市政、県政、国政の経験を活かし、住民の暮らしの向上と安全安心、地域経済の好循環を実現します。

「令和の米騒動」といわれている米価格の高騰対策については、小泉大臣の下、備蓄米の放出を今まで以上に進め、銘柄米の価格低減を図っているところです。今回の価格高騰の原因は未だ明確になっておりません。供給量不足が原因なのか。流通ルートで滞留しているのか。今回の備蓄米放出により現在価格や今年の新米価格が極端に下がらなければ、供給量不足といえると思います。政府は今後、国内市場への安定供給を図るために生産拡大に政策転換します。そのためには農家、特に実際に米を作っているオペレーター農家への支援をもっと充実させる必要があります。私の役割はこの碧海地域に合った農業政策を政府に提言することです。なお一層のご指導をお願いします。

今回、刈谷市に本拠地を置き、県から障害者就業・生活支援センターの指定を受けて活動されている「特定非営利活動法人くるくる」さん取材し、その内容について次ページにまとめました。障がい者雇用の重要性和考え方について再認識いたしました。今後の政治活動に活かしてまいります。

自由民主党愛知県第十三選挙区支部長
前衆議院議員

石井拓

#141taku

石井が拓く!



石井拓

<https://141taku.com>



生活に困らない国づくり

特定非営利
活動法人

くるくる

明日を切り拓くチカラ。



誰もが取り残されず生活し社会参加できる国をつくること。政府は障害者福祉の充実を目指し、繰り返し制度改正をしてきました。昨今では就労継続支援事業所も増え、地域に根付いてきています。障害者就労支援を体系的に構築し、サポートする「特定非営利活動法人くるくる」さん取材しました。

望みは生涯にわたって 安心して生活できること

石井 「くるくる」さんは利用者に対して、幼少期の発育の段階から成人して仕事に就く、あるいは離職し再就職をする場面まで関わりをもって事業をされています。また通信制高校卒業資格が取れるサポート校もお持ちです。生活介護や安心できる居場所を提供する事業もされ、利用者の人生そのものに関わりを持っています。障害者福祉の理想形と私は思っています。

くるくる 政府も2003年支援費制度を開始して以来いろいろな支援制度を構築してきました。それにあわせて当事業所も進化し、今の形となりました。障害者やその保護者の方の望みは生涯にわたって安心して生活ができることです。政府は社会保障予算が膨らみ続ける中で、障害者の自立、つまり就労支援に力を入れています。障害者の法定雇用率を企業に課していますが、「雇え、働け」ではなく、「できる仕事を見つけていきましょう」という考えです。障害者も自立し社会の一員として働き、社会保障の受益者から納税者になることで持続可能な福祉制度が成立すると考えます。

石井 就労支援でその障害者一人ひとりにできる仕事を企業と一緒に探すことが重要ですね。

くるくる 社会全体がいろいろな場面で多様性、公平性、包括性を兼ね備え、障害者が職場で受け入れられるようになりました。働くことは自分の成長と幸福をもたらすもの。好きな仕事、熱意をもってやれる仕事を見つけることは健常者も障害者も望みは同じ。障害者の場合はその手助けが必要となります。就労する意思や体験は子どもの頃から訓練が必要です。私どもの事業所「J-くる」では放課後等デイサービスの中で、中、高生に向けて就労準備型訓練を行っています。

石井 以前より県から障害者就業・生活支援センターの指定を受けて活動されています。エリア（碧南、刈谷、安城、西尾、知立、高浜）ごと1事業所が指定を受けるのですが、範囲も広く大変な役割を担ってられます。

くるくる 就業と生活の両面にわたり一貫して行う事業で、本人、家族、就職先などと一生涯をかけてサポートします。地域の関係機関や企業、他の支援事業者などと協力連携を深め、チームを作って対応しています。昨年度末で910名を超える方が登録をされ、年間3500件を超える相談に対応しています。

石井 大変な業務量だと思います。障害者雇用に対する企業の考えも変わってきましたか。

くるくる うれしいことに就労先の企業も積極的に考えていただけるようになってきました。例えば、発達障害の方の特性として同じ作業を長時間集中して行うことができます。マッチングの過程でその職場環境がその人にあうかどうか。週に1時間だけでも働いて、あえば時間を増やしていく。今、労働時間が短くても法定雇用率の算定数に算入できるように法改正がなされています。フルタイムに限らない多様な働き方を提案し、どんな障害があっても社会参加できるようにと進めます。



働くことについて健常者との垣根はない

石井 障害者の方が働いて作った製品やサービス対して、安値や通常価格ではなくもっと高く買われるべきだと。全国民がそういった意識を持つよう規制を作ったかどうかと思っています。

くるくる お考えはわかりますが、これを強制すれば社会保障費の付け替えになってしまいます。社会の風土を変えていくことが大切で、障害者の方も適正な労働の対価で収入を得ることを目指します。発達障害という概念ができてから、働くことに対して障害者と健常者の垣根はなくなりました。例えば勉強するときに書いて覚える、見て覚える、声に出して覚えるとそれぞれ情報処理の仕方が違います。特性によってその環境にあうあわないは誰しもあり、環境適応が難しければ支援が必要となります。

石井 「くるくる」さんには就労スキルを学ぶ移行支援、就労場所を提供する継続支援B型、就労上の問題解決を図る定着支援の各事業があります。また、中、高生のうちから職業訓練を行う就労準備型放課後等デイサービスも行っています。全方位で利用者を支える姿勢がよくわかります。

くるくる 障害者が自立するために就労し、仕事の楽しさや社会参加を実感する場として、就労継続支援事業所があります。中にはステップアップを目指し、施設外就労つまり一般企業で働くことを希望する方もあり、その仕事にあった技能やコミュニケーション能力の向上を私たちは支援します。希望する方の選択肢が広がられることが重要です。



新しく始まる「就労選択支援事業」

くるくる 今年10月から「就労選択支援事業」が始まります。障害者本人がより良い仕事を選択できるよう、希望や能力にあう仕事探しを支援する制度です。本人の強みや課題、就労環境に対する配慮など整理・評価（就労アセスメント）し、適切な就労に繋げることを目指します。この就労アセスメントについてもこれまで研究してきました。就労環境の変化や生活環境の変化に合わせ、その都度対応できるノウハウは今後も伸ばしていきたいと思います。

石井 「くるくる」さんが長年研究されてきたノウハウは地域にとどまることなく社会全体の資源として重要です。是非、全国に広めていただきたいと思います。今後の展開に期待しています。

就労準備型

放課後等デイサービス



『働く大人をめざして、学生のときから準備したい』

中、高生に向けて放課後に曜日を決めて通う「塾」感覚の就労準備型訓練。簡単な作業や報連相練習を通じて、職業理解を育み、卒業前の進路選択や卒業後の就労へスムーズな移行を促します。

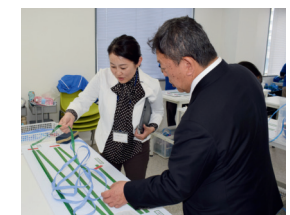
くるくる式 就労支援

段階的

実践的

継続的

個々の特性に応じた作業訓練、短時間勤務やユニット雇用、通勤支援、復職支援など多岐にわたった内容で就職・定着を支援します。



『仕事に就きたい』の夢をサポート

